

引取りあり。

而して世に予を八時金岡外六名を諏訪山公園に至り同志の参考  
を待たざりしが参考員十五名此の集合の警戒はは兼ねて警察  
官の顔を知れり神戶金岡警察組合員にして華合局保険勤次  
員赤松雄二郎は警察官の来りたるを友見したる爲め山上に集合  
せし連中の急報せんとしたるため赤松は其の場より檢束さんたへ他  
者も之に氣付き逸早く裏山に逃走し三々伍々下山せり  
從て被等・申合せざる多難會をく敬會せり

一方華合郵便局郵便愛合會に於ては廿日夜中央電信局配  
大塚喜一郎。通知に依り事情を知りたる郵便會會長西山廣  
は日夜華合局内裏面手休想所を於て同會事務部  
佐々木 勲 日本國大前 近藤 爲吉

金子 宗治 伊予良太郎 狭間 武雄 木正 某  
七名と會合協議。結果 左記決議文を作成

決議文

貴職今回突発せられたる向職者集配手金岡貞次君。敵首ハ其  
ニ班長平中某ナル者ガ公務中右如久美配手を襲行員傷せしメタ

ハ殆ど不問。附シテガ金岡君。場合於テハ個々感傷ニ依リ而シテ公務  
外事件ノニ拘ラズ解雇處分ヲ出サレシ之レ明カニ共テ其落ト共ニシテ  
官僱手頭ノ發揮ヲ暴行シテ辱シテ放シテ華合局郵便會員  
ハ向職者タル關係上本心ヲ等シテ平素餘り悲シムル狀々通信従業員  
ノ生活ヲ無視 蹂躪スルノハ 茲ニ右嚴重抗議スル共ニ 即時 同君  
復職ハ 望ム事ナシ

昭和五年七月廿一日

華合郵便局集配手

神戶中央電信局長殿

華合郵便會全員

廿一日午三時頃神戶中央電信局を訪問し局長と會見決議文も  
手交し復職方を執願し局長は局長として決意したる上は  
如何とす能はずと強絶すの態度を見せ打切リたり

更に八月一日午後七時頃坂道入左衛門春太郎は神戶市下山と通  
八丁目郵便局郵便保険課課長 金治但治、兎も至リ左記要求書  
を授入せり  
中電局に入社従業員十六名中僅か二三名の従業員と伴之  
の衝突として

徳後 一〇名 局員 八名